

# たいわ 町議会だより



やったー、豊作だー(落合小学校)

9月定例会概要

2~5ページ

23年度決算をチェック

7~14ページ

いじめ対策は万全か ほか 一般質問者13名

15~28ページ

なじよになったあの提言は 研修レポート

29~31ページ

# 来年3月完成



体育館が狭いため、屋外で練習

## 9月定例会 (会期9月3日～14日)

### 内 容

条例の改正や補正予算、23年度決算や人事案件等を慎重に審議しました。  
一般質問は13人の議員が、町の対応や考えを問いました。

### 全議案可決 9月定例会で、このようなことを審議しました

条 例	結果	賛：反
東日本大震災復興基金条例	可決	17：0
児童館設置条例の改正	可決	17：0
農業施設災害復旧分担金徴収条例の改正	可決	17：0
水道給水条例の改正	可決	17：0
その他	結果	賛：反
宮床中学校体育館建築工事請負契約	可決	17：0
町道路線の廃止	可決	17：0
町道路線の認定	可決	17：0
人事（教育委員）	同意	12：5
人事（固定資産評価委員）	同意	17：0
人事（人権擁護委員）	適任	17：0
人事（人権擁護委員）	適任	17：0
意見書（地球温暖化対策に関する地方財源の確保を）	可決	17：0
請願書（「仮称」下草大橋の架橋に関する請願）	委員会付託	17：0

23年度決算		結果	賛：反	24年度補正予算		結果	賛：反
一般会計		認定	16：1	一般会計		可決	17：0
特別会計	国民健康保険会計	認定	17：0	特別会計	国民健康保険会計	可決	17：0
	介護保険会計	認定	17：0		介護保険会計	可決	17：0
	宮床財産区会計	認定	17：0		吉田財産区会計	可決	17：0
	吉田財産区会計	認定	17：0		老人保健会計	可決	17：0
	落合財産区会計	認定	17：0		後期高齢者医療会計	可決	17：0
	奨学事業会計	認定	17：0		下水道会計	可決	17：0
	後期高齢者医療会計	認定	17：0		農業集落排水会計	可決	17：0
	下水道会計	認定	17：0		合併浄化槽会計	可決	17：0
	農業集落排水会計	認定	17：0		水道会計	可決	17：0
	合併浄化槽会計	認定	17：0				
水道会計	認定	17：0					

# 宮床中学校体育館



手狭になった、現在の体育館

**インタビュー**  
新しい体育館が建てられますが、いかがですか？

男子バスケットボール部  
主将 天野未久斗くん  
あまのみくと



今の体育館はバスケの正式なコートじゃないので、新しい体育館になれば大きくなり、コートもしっかりするので、気持ちを切り替え、中総体に向けて頑張ります。

女子バレーボール部  
主将 内海 美優さん  
うちみ みゆう



体育館が新しくなるのはうれしいですが、この体育館にも思い出があるので寂しい気持ちです。新しい体育館になっても、部活を頑張ります。

## 完成予想図



### 1回目不調2回目で落札

**議員** 体育館は2度追加補正して今回の落札となった。本体工事、電気設備工事、機械工事、それぞれ分離発注した理由は、**教育総務課長** 当初、本体工事、電気設備工事、機械工事を一括して発注し

たが不調だった。6月と7月に追加補正をし、本体工事、電気設備工事、機械工事の分離発注をし、落札に至った。

**議員** 初めから、分離発注はできなかったのか。

**教育総務課長** 当初は、

町の指名委員会と協議し、一括発注とした。不調だったので、3本の分離発注とした。

### 自家発電はできるの？

**議員** 体育館は、宮床地区の防災避難所にもなるが、自家発電の設備は含まれていないのか。含まれていなければ、今後、どのように防災設備を整えていくのか。

**教育総務課長** 自家発電は入っていない。各小中学校は一時避難所になっており、災害時には体育館などを開放する。

### ソーラーパネルは？

**議員** 増築する体育館は、太陽光発電が入っているのか。入っていないの

であれば、今後、導入の予定は。  
**教育総務課長** 太陽光発電の利用は、考えていない。

**議員** 太陽光などオール電化にしようとする考えはないのか。

**教育総務課長** 自家発電は、町の防災担当と協議をし、町の全体計画の中でどういう位置づけか確認していく。

### グラウンド狭いのでは

**議員** 体育館があの場所にできると、グラウンドが狭くなるのでは。

**教育総務課長** 十二分に検討した上で、現位置に設定した。

**議員** グラウンドの前に小山があるが、グラウンドをさらに押し広げ、拡張する計画はなかったのか。

**教育総務課長** 現地を確認したが、高低差が非常に大きく、技術的、経済的な面で厳しい面があったため、現在の場所にした。

# 9月定例議会の概要

## 東日本大震災復興基金条例

大震災の復興に役立てるため、大和町東日本大震災復興基金を設置するものです。

## 水道事業給水条例の改正

大和インター区画整理事業の完了により、住居表示の変更が行われるため、給水条例の改正を行い、まいの一丁目〜四丁目などを追加するものです。

## 農業用施設等災害復旧事業分担金徴収条例の改正

5月3日〜4日の大雨で、農業用施設が災害を受けたので、修繕を行うに当たり、町からの支出金と農業者から分担金を徴収し修繕を行うものです。

## 舗装工事(町道吉田落合線)請負契約

落札業者と請負契約を行うものです。

落札業者：日本道路㈱

仙台出張所

落札額：4800万円

(消費税別)

吉田落合線ってどこ？

黒川病院、役場前の道路です。西側に行くとL字型の道路になっておりますが、それを真っ直ぐにし、国道457号線となぎます。

## 宮床中学校屋内運動場増築工事の請負契約

落札業者と請負契約を行うもの。(本体工事)

落札業者：丸か建設

落札額3億2000万円

(消費税別)

仙台支社

【参考】

電気設備：吉岡電工社

落札額：1796万円

(消費税別)

機械設備：ウオーターワークス仙台大和営業所

落札額：1350万円

(消費税別)

総額でいくらかかるの？

3億6903万3000円(消費税込み)です。



国道457号線へ直結

## 児童館設置条例の改正

町行政組織の見直しにより、児童館の所管を教育委員会部局から町長部局に変更するものです。

## 町道路線の廃止

町道3路線を廃止するもの。場所はどこ？

大和インター区画整理地内です。

## 町道路線の認定

98路線を認定するもの。場所はどこ？

大和インター区画整理地内と吉岡南第二土地区画整理地内です。

## (仮称)下草大橋の架橋に関する請願書

提出者：大和町鶴巢地域振興協議会

会長 高橋好雄さん

請願の趣旨：鶴巢地区住民等の民生の安定と向上を図るため、(仮称)鶴巢大橋を早期に架橋していただきたい。

## 人事

### 教育委員

菊地 敬さん(66歳)

落合報恩寺字上ノ山

### 固定資産評価委員

大飼 勇さん(67歳)

鶴巢北目大崎字岸

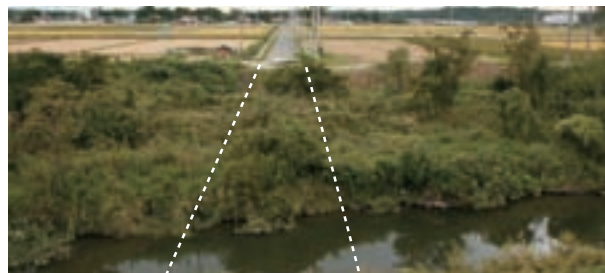
### 人権擁護委員

鈴木立子さん(60歳)

もみじヶ丘二丁目

千坂裕子さん(62歳)

鶴巢北目大崎字長在家畑



早く架けて(仮称・下草大橋)

## 補正予算質疑



劣化が進むため池

### 嘉太神ため池

議員 嘉太神ため池の劣化調査は、どれぐらいの日数を要するのか。どのような対策を進めるのか。産業振興課長 本年中に概略調査が終わる。その結果を待って、どういった対応をするか、これから検討していく。

議員 大きな災害にならないうちに、早く改築工事を進めるよう努力してほしい。

産業振興課長 改修工事に向けて、努力していく。

**バラバラに壊れた表示板**

**議員** ごみを出す日の案内表示が壊れている所があるが改修しないのか。

**環境生活課長** 案内板は、推進員からの連絡を受け、町の職員が行って取り替えている。

**議員** 案内板はアクリル板で壊れやすい。対策を考えては。

**環境生活課長** 樹脂製に変えるか、検討している。



壊れやすい案内板

**特産物 曲がりねぎ**

**議員** 曲がりねぎ機械導入とあるが、予算計上の背景は。

**産業振興課長** 曲がりねぎは宮城県の特産品として町、農協、県で推薦して

販路拡大に力を入れていく野菜である。そのため機械購入である。



建て替えはいつ？

**中町消防団車庫**

**議員** 役場跡地にある消防車庫は、いつごろ完成するのか。

**総務まちづくり課長** これから発注し、来年3月後半を予定している。

**丁寧な除雪を**

**議員** 毎年、除雪の仕方が悪いと苦情が来ている。苦情がある業者は決まっているようだが、この業者に対して、どのような指導をしているのか。

**都市建設課長** 特定の業者の除雪に対するクレームも結構あるので、今後

は個別の指導をしながら改善していく。

**議員** 苦情が来ている業者に対して、しっかり個別指導をしていただきたい。

**都市建設課長** 個別指導を徹底し、苦情のないような除雪作業をしていく。

**狂った時計**

**議員** もみじヶ丘の公園に時計が設置されているが、時計の時間が、合っていない。時計の修繕や撤去にもお金がかかることだが、今後の見直しは、都市建設課長 時計がそこに本当に必要かを含め、見直しをかけた。時間のずれは、直ちに修理をする。



早く直してね

# 財政健全化指標で自治体の財政を見極めろ

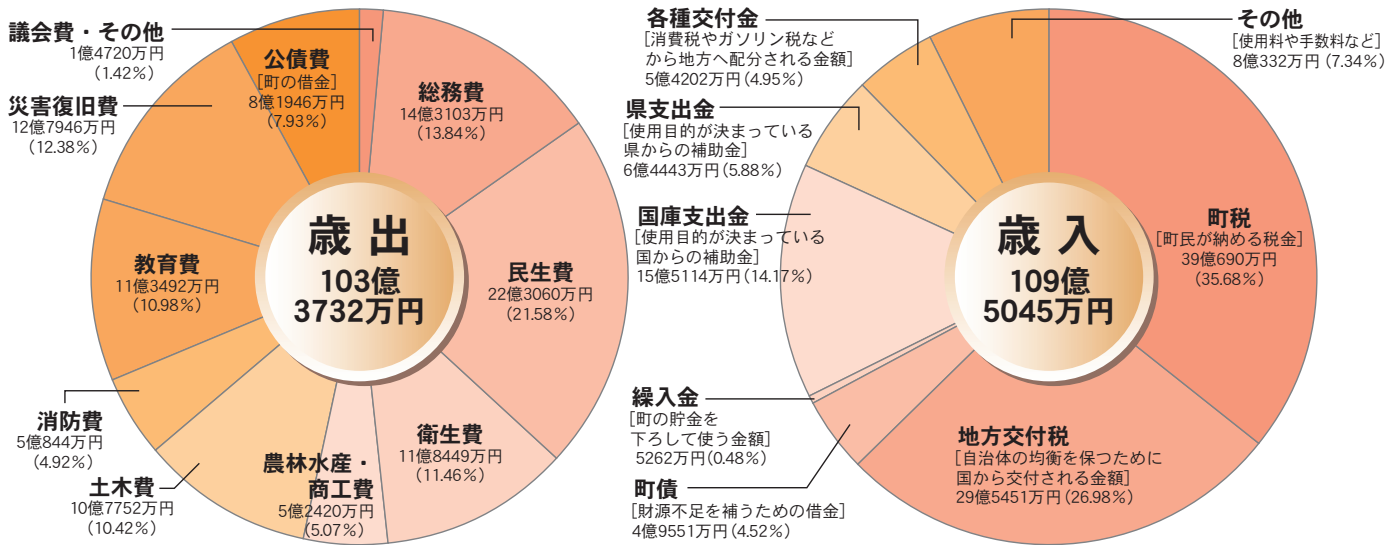
自治体の財政危機を未然に防ぐために、「健全化指標」の公表が義務付けられています。財政状況は4つの指標を使って判断しますが、1つでも基準値を超えると財政悪化を示します。

区分	黄色信号 (注意)		赤信号 (財政破綻)		大和町 (平成23年度)	判定
	基準値	早期健全化団体	基準値	財政再生団体		
1. 実質赤字比率 (一般会計に占める赤字の割合)	14.27%	4指標のうち1つでも基準値を超えれば『早期健全化団体』となり、自治体は自主的に財政を改善しなければなりません	20%	3指標のうち1つでも基準値を超えれば、国の管理下で財政再生を進める『財政再生団体』となります	-	正常
2. 連結実質赤字比率 (公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合)	19.27%		30%		-	正常
3. 実質公債費比率 (自治体の収入に対する借金返済額の割合)	25%		35%		9.5% (昨年度比1.0%減)	正常
4. 将来負担比率 (将来にわたる実質的負債「借金」の割合)	350%				27.0% (昨年度比1.1%減)	正常

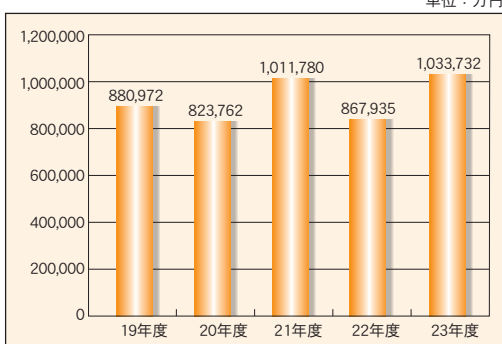
※「1.実質赤字比率」と「2.連結実質赤字比率」の基準値は、各市町村の標準財政規模によって異なります。

結果：問題なし

# 23年度決算を分析



5年間の一般会計歳出の推移

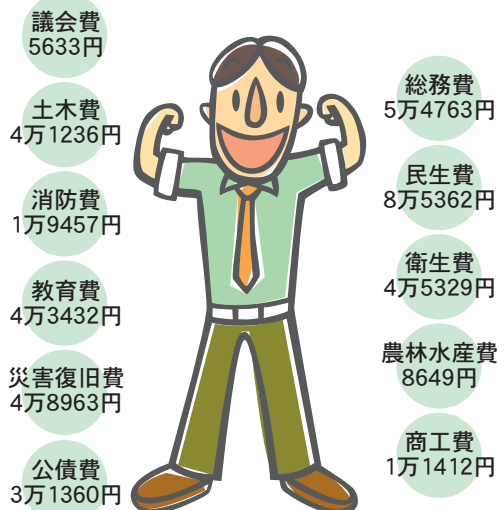


町民一人あたりの支出額

**39万5596円**

(昨年度と比べ5万4010円増)

平成24年3月末人口2万6131人で試算



▲減額

平成 23 年度	歳出分	決算額	前年度比	増減率	採決の状況
一般会計		103 億 3732 万円	16 億 5797 万円	19.1%	賛 16 : 反 1
特別会計	国民健康保険会計	22 億 1606 万円	1 億 1898 万円	5.7%	賛 17 : 反 0
	介護保険会計	13 億 8675 万円	5787 万円	4.4%	賛 17 : 反 0
	宮床財産区会計	3904 万円	2173 万円	225.5%	賛 17 : 反 0
	吉田財産区会計	446 万円	▲ 1499 万円	▲ 77.1%	賛 17 : 反 0
	落合財産区会計	485 万円	▲ 134 万円	▲ 21.6%	賛 17 : 反 0
	奨学事業会計	831 万円	160 万円	23.8%	賛 17 : 反 0
	老人保健会計	-	▲ 1430 万円	-	-
	後期高齢者医療会計	1 億 6016 万円	93 万円	0.6%	賛 17 : 反 0
	下水道会計	9 億 8247 万円	1 億 2850 万円	15.0%	賛 17 : 反 0
	農業集落排水会計	6966 万円	1912 万円	37.8%	賛 17 : 反 0
	合併浄化槽会計	7254 万円	2697 万円	59.2%	賛 17 : 反 0
水道会計	9 億 9249 万円	264 万円	0.1%	賛 17 : 反 0	
合計		162 億 7411 万円	20 億 568 万円	14.1%	

# 23年度決算

正しく予算は使われたか、

どのような成果があったのか

# 各課の決算をチェック



今回の決算委員会は、平渡 高志議員が委員長となり進められました。

## 決算特別委員会を設置

各課の決算を細かく審査をするため、決算特別委員会を設置し内容を検証しました。

**投票に行きましょう**  
**委員** 選挙投票率アップの方策は。  
**総務まちづくり課長** 選挙公報、チラシ、ティッシュ配布による広報活動に加え、以前行った若い方に選挙立会人をお願いするなど再検討する。また、ポスターコンクールなど教育に取り入れていく。



投票に行きましょう

**連絡区長？地区長？**  
**委員** 連絡区長では耳ざわりがよいのではない。  
**総務まちづくり課長** 現在の条例は大和町連絡区設置条例となっているが、行政的な仕事をお願いしており、通知文の中では何々地区区長で統一を図りたい。

**緊急時のために**  
**委員** 職員の普通救命講習の受講状況は。  
**総務まちづくり課長** 何年前には全職員対象に行っていたが、23年度83名が受講した。



救命講習を受ける町職員

**行政に町民の声を**  
**委員** 町民懇談会の開催状況は。  
**総務まちづくり課長** 杜の丘地区、吉岡南第二地区で開催し、63名が参加。保育事業、予防接種、防犯灯の整備、修繕など、その地区に合ったテーマを考え、実施した。



積極的な参加を（町民懇談会）

**ご意見番**  
**委員** 広報たいわのモニター選出方法とその構成は。  
**総務まちづくり課長** 毎月電算システムの中からランダムに30名（20〜60代の各年代から男女各3名ずつ）を選出し依頼しており、回収率は59%。

**頼りにしています**  
**委員** 災害支援協定の締結状況は。  
**総務まちづくり課長** 民間では白石食品、レンゴーの新仙台工場、まほろばの里、桜の家と締結済みだが、その他郡内の社会福祉施設との締結に向け、協議中である。

## 健康第一

**委員** 職員の健康管理は大丈夫か。

**総務まちづくり課長** 現在191名の職員中、179名が通常検診を受け、その他人間ドック受診者も含めるとほぼ90%の職員が検診を受けている。また、年3回産業医の指導を受けている。

## 地域の団結が大切

**委員** 自主防災組織設立状況は。

**総務まちづくり課長** 吉岡地区73%、宮床地区64%、吉田地区25%、鶴巣地区83%、落合地区67%、全体で62%が設立済み。区長会などを通じて設立を呼びかけていきたい。



地域で減災を

## 大丈夫？公文書の保管

**委員** 旧NTT吉岡営業所で保管は大丈夫か。

**財政課長** 旧NTT吉岡営業所の倉庫には書類中心、高田の倉庫には備品を保管。10月からの機構改革にあわせ、再度見直しをする。



これで大丈夫？

## 新システム導入

**委員** 新公会計制度対応ソフトの導入は。

**財政課長** メンテ費を含め127万円で導入し、決算統計作成が容易となった。

## ステキな駐車場

**委員** 宮床基幹集落センター前の駐車場整備により、周辺への効果は。

## 財政課長

小学校、宮床宝蔵、原阿佐緒記念館も利用可能となり、原阿佐緒記念館の駐車場の借地を返却した。

## 計算方法は？

**委員** 国民健康保険の税率算出は。

**税務課長** 所得割、資産割、均等割、平等割があり、本町では所得割8%、資産割45%、均等割3万円、平等割3万5000円となっている。

## 何台あるの？

**委員** 軽自動車の登録状況は。

**税務課長** 本町の原付自転車から軽自動車の登録台数は、昨年に比べ156台増の1万110台である。県外ナンバーの増加が目立つが、県内ナンバーへの切り替えを依頼してみたい。

## 協力して震災復興を

**委員** 小鶴沢産業廃棄物処分場に焼却灰が搬入されるが、放射能は大丈夫か。

**環境生活課長** 定点で継

続検査する。検査地点の拡大も県と協議している。



震災復興をあと押し

## 違反があった!?

**委員** エコファクトリーで違反行為があったが、どのような指導をしたのか。

**環境生活課長** 水質検査で一昨年問題があった。改善を指導した。地域の方から通報のあった野積みは、職員が現場を確認し、期限を指定して改善させている。

## ごみの山

**委員** 嘉太神の震災ごみの不法投棄を、どのように対応するのか。

**環境生活課長** 所有者はわかっているので、県と相談して継続対応する。



なんだこりゃ～（不法投棄）



## 高齢化社会

**委員** 特別養護老人ホームの待機数は。

**保健福祉課長** 民間の施設で待機している方を含めて約50人おられる。



5月にオープンした、まほろばの里

**引き受け可能な環境を**  
**委員** 病後児保育を実施しては。

**保健福祉課長** 病後児保育を行うには、看護師、保育士の増員が必要であり、できかねた。今後は、民間にお願いしたい。

## より安全ポリオワクチン

**委員** 不活化ワクチンの予防接種をどのように推進するのか。

**保健福祉課長** 広報で知らせしたり、対象者に個別通知し、また無料券を同封している。

## ジェネリック医薬品

**委員** 医療費抑制策としてジェネリック医薬品が有効であるが、使用状況の管理はしているのか。  
**町民課長** まだその段階にはない状況である。

## 加藤コレクション

**委員** 元東北大学総長の加藤陸奥雄さんの加藤コレクションを、宮床基幹集落センターに保存・管理しているが、今後の対応は。

**生涯学習課長** まほろばホール・宮床宝蔵のスペースで展示を考えている。

## 入館者の増加を

**委員** まほろばホールの利用者を増やすために行っていることは。

**生涯学習課長** 職員の対応で好印象を与え、次回

の予約をいただいている。

## 省エネに努めてます

**委員** 学校教育の中で省エネの取り組みは。  
**教育総務課長** 利用してない教室の消灯を行い、また、水の大切さの指導を行っている。

## 学生の味方、奨学事業

**委員** 奨学事業の応募者数は、給付式の制度は考えていないのか。

**教育総務課長** 応募者は12人で全員採用した。また、給付式の制度は現在のところ考えていないが、今後他市町村の事例も勉強していく。



笑顔で対応、みなさんお待ちしてまーす（まほろばホール）

## 頑張っているかな？

**委員** 学力向上パワーアップ支援事業の成果は。  
**教育総務課長** 家庭学習ノートは、書くということに力を入れてきた。質は今後の課題ではあるが、家庭学習の時間は確実に増えている。

## 融資で商工の発展を

**委員** 商工振興費の融資制度の中で、利子補給の他にどういうものを使用されたのか。  
**産業振興課長** 運転資金、設備資金の貸し付けに対し、1%相当額の利子補給と補証料の給付は全額町が負担している。



夢を目指して日々勉強

## 大盛況

**委員** 宮床ふれあい農園利用率100%ということだが、申し込み状況と今後、拡大する考えは。  
**産業振興課長** 全68区画であり、申し込み状況としては大和町13名、富谷町16名、仙台市38名、大崎市1名、合計68名の申し込みである。土地の所有者や所有形態など問題もあり、拡大は難しい。今後、農協などと検討をしていきたい。



何をしようかな（宮床ふれあい農園）

### 本町の農業のために

**委員** 水田農業構造改革

対策費の中の大和町地域水田農業推進協議会の構成と事業内容は、

**産業振興課長** 大和町地域水田農業推進協議会は、

転作による補助金の取り扱い団体ということで、

平成16年に発足した。会長が町長、副会長はJA

の組合長で、県、JA、農業関係の団体、区長、

地区代表者、実行組合長のメンバーで構成している。

現在は、転作の補助金が国から直接支払われる戸別補償に変わって、

水田協としては、町単独の補助事業になっている。



拡大する転作

### 地元業者を指名してね

**委員** 黒川商工会工業部

会からの入札制度、適正な評価に関する請願書に対し、これまでの工事に

どのように反映されたのか。

**副町長** 地元の請願の趣旨にしたがいながら、地元の企業を指名して、入札に参加して頂いている

のが現状である。



みんなの安全のために（道路維持管理）

### 道路パトロール

**委員** 町道の道路維持管理業務は、何名体制で

やっているのか。

**都市建設課長** 維持作業の体制は、2名で行っている。2名だけでやれない業務などが沢山あるので、事務職員が応援している。

### 夜道を照らす防犯灯

**委員** 省エネ性の高い工

バースライトに切りかえた割には電気料が変わらない。LEDに変えていく

中で、削減の見通しは。電気料の基本契約は、どのようになっているのか。

**都市建設課長** 防犯灯をLEDに切りかえ、前払いにしたことにより、電気料金が安くなる見通し

である。1灯当たりのワット数に応じて幾らという契約である。10ワットまでだと54円18銭となる。



省エネ対策 LED ライト

### 水は生活の源

**委員** 上下水道の普及率、将来の見通しは。

**上下水道課長** 普及率は、昨年3月31日現在で84・3%、昨年対比で0.2%アップである。今後の予測は困難であるが、誘致企業社員などの定住による給水量の伸びは、1.5%と試算し、下方修正しながら将来予測をしている。

### 破裂してからでは遅い

**委員** 老朽管対策事業で、老朽管がどのくらい残っているのか。

**上下水道課長** 町の老朽管対策は、これまで吉岡地区を重点的に整備を進めてきた。25年度以降、大崎三ノ関線や舞野志戸田、舞野地区で取り組む。



こうなる前に

# 23年度決算質疑、各課を問う

## 町営住宅の跡地利用

**委員** 町営住宅（木造）解体後の跡地利用計画をどのように考えているのか。また、町営住宅マスタープラン策定計画はあるのか。

**町長** 木造の町営住宅は築50年が経過しており、昨年の東日本大震災で大きな被害があったため、全ての木造住宅は解体する方針で、その旨を入居者に伝えながら、できる限り退去をお願いしている。

跡地利用計画としては、解体が虫食い状態となっていることから、まとまりができ次第、地区などと相談をしていきたい。

マスタープラン策定計画だが、人口の増加により住宅需要が高まっている中、民間アパートもあり、町営住宅の需要を予測する必要がある。さらには、シルバーハウジングや子育て支援住宅などの要望がある。

国・県の指導を受けなが



雨漏り心配、町営住宅

ら、県が策定した宮城県住生活基本計画に従って進めているので、改めてマスタープランを策定する計画はない。

## 産業振興課、都市建設課に問う

ほりごめ ひで お  
堀 籠 英 雄  
産業建設常任委員会 代表

## 町道の維持管理

**委員** 豪雨時に水没する路線が数箇所ある。今後の対策をどのようにするのか。また、未舗装をどうするのか。

**町長** 早急に解決しなければならぬ課題と受け止めている。豪雨時でも冠水しない道路を整備する必要があり、工法の検討や補助事業の導入の研究を指示していく。

未舗装道路の改良だが、各地から多くの要望があり、緊急性や補助事業など総合的に勘案し、優先順位を定めており、道路改良や未舗装道路の解消を図っていく。

## 企業誘致対策

**委員** 企業誘致に伴う、地元雇用と定住促進策は。

**町長** 企業における雇用情勢は景気の変動に左右される面もあるが、町としても企業に毎年、春の新規採用時に地元出身の卒業予定者を多く採用

いただくように「大和町企業等連絡懇談会」などでお願いし、地元雇用と定住促進に努めていく。

## たいわ産業まつり

**委員** 現在、役場跡地で開催しているが、新旧住民の交流の場所として適切なのか。

**町長** 平成14年より旧役場庁舎前で開催しており、今回も商工会や実行委員会が決定している。新旧住民の交流の場ということだが、「大和まるごとフェア」を杜の丘で開催することになっており、積極的な交流が図れることを期待している。



元気はつらつ、小野っ子太鼓



ここから情報を発信（役場）

このままでもいいのか  
町民バス

平成25年4月に開設されるバスターミナルに併せ、デマンドバスを導入せよ。  
町長 オンデマンドバスは利用登録者が乗り合いで利用できるシステムであり、空運行を回避できる効果がある。  
25年4月のバスターミナル利用開始に併せての導入は厳しい。  
現行の町民バス路線バスは、バスターミナルに併せ、これまでの課題の整理を行い、ルート・ダイヤの見直しを図り、地域公共交通の利便性を高めていく。

**委員** 去年の大震災で防災無線が聞こえないという声が多くあった。ツイッターやメールで情報を発信しているが登録者も少ない。改善策は。  
**町長** 防災無線は、運用開始から20年が経過し、老朽化が進み修繕の必要がある。住民の皆様からも「防災無線が聞こえない」「聞こえづらい」などの通報も寄せられている。その都度修繕を行ってきた。

東日本大震災時に防災無線が聞こえなかったのは、停電が長期間となり、震災に関する放送回数が増大したため、屋外子局のバッテリーがダウンしたことによる。  
メールやツイッターの登録は、広報紙やホームページで継続してお知らせをし、今後とも強力に周知を図る。PTAをはじめとする各種団体に呼びかけ、登録者を増やす努力を続ける。



大事な町民の足

## 総務まちづくり課、税務課、環境生活課に問う

伊藤 勝  
総務常任委員会 代表



窓口納税ありがとうございます

**国民の義務です**  
税金の未納が多い。その対策は。  
**町長** 平成23年度の収入未済額は、町税で2億2520万8000円、国保税では3億72万4000円であり、新規滞納防止に取り組む。  
景気は依然として低迷状態にあり、給与水準の低迷や雇用の不安等もあり、加えて「東日本大震災」の影響も考えられ、納税環境は依然として厳しい。  
今後の徴収対策としては、納税貯蓄組合の確実な納付と口座振替の推進をはじめ、未納者には早期督促や、小まめな臨戸訪問を基本とし、滞納者には実態調査を行い、状況に応じた差押え等の滞納整理を引き続き実施する。高額・長期未納の滞納者は「宮城県地方税滞納整理機構」や「宮城県仙台北県税事務所」と連携を深め、適正な滞納整理を進める。各担当課との連携を、一層強化する。

## ボランティアも高齢化

**委員** 敬老会は行政区単位で実施されているが、

吉田地区では、既に地区単位の実施に戻している。ボランティアへの負担が大きくなってきているので、全体的に実施方法を見直してはどうか。

**町長** 敬老会は、平成17年度からは各地区単位で開催されるようになり、それぞれの地区の事情により現在に至っている。

平成23年度は、59地区43会場で開催された（52.5%、1489人出席）。

各地区それぞれ工夫を

こらし、特徴ある催しと  
なっており、区長さんをはじめお世話を頂きますボランティア各位には心から感謝申し上げます。

敬老会実施方法の見直しは、今年度の敬老会終了後に課題を整理し、町としてどのようなお手伝いが望ましい姿なのか、区長さんや関係者の意見を聞きながら一緒に検討していく。



楽しみにしている敬老会

# 保健福祉課、教育総務課に問う

社会文教常任委員会 代表

ふじ まき ひろ し  
藤 巻 博 史

## メタボの改善は

**委員** 宮城県はメタボ率が高く、その中でも黒川郡は高位となっている。改善指導の充実が必要ではないか。

**町長** メタボリックシンドローム対策としては、健康たいわ21プランの中で取り組んできた。

平成16年度からスタートした「健康たいわ21プラン」の重点健康項目評価指



えっ!!多すぎ?

スクールソーシャルワーカーの充実を

**委員** スクールソーシャルワーカーは、現在の配置で十分なのか。

**町長** スクールソーシャルワーカーは教育分野に加えて、社会福祉の専門的な知識や技術を有する専門相談員として、児童生徒の問題行動に対する相談を受けている。  
いじめ、児童虐待、家庭環境など継続的に支援を必要とする児童生徒の相談を受けている。平成23年度の相談件数は、33件であった。

標も、野菜好きが2.8倍に増えた他、糖尿病予備群が12%減少し、大きな効果があがっている。  
メタボ率が、県の中でも大和町がワースト4位にあるという現状を広く町民に伝える。健康管理は個人の意識のもと、運動、食事・禁煙など生活習慣の改善を広報を通じ広く周知していく。

また、町独自で教育相談員を2中学校に配置し、週3回相談を行っているほか、県派遣のスクールカウンセラーも3名が、2中学校、2小学校で相談を受けている。  
なお、スクールソーシャルワーカーは、ケースによっては、関係機関とも連携しての慎重に問題解決への取り組みをお願いしている。

# 予算が正しく使われたか

各会計ごとに採決

その前に討論

討論とは採決の前に反対者、賛成者がそれぞれ「なぜ反対か賛成か」意見を述べることです。

## 一般会計

### 反対討論



藤巻博史議員

商工振興費約2億2400万円の内、約1億円を企業立地関係で占めている。関係する会社6社に企業立地の奨励金、助成金、土地取得の助成金が支出されている。地元からの雇用も確認ができない中で、体力がある企業への助成というのは見直すべきであり、反対とする。

### 賛成討論



堀籠日出子議員

企業誘致事業は、企業の誘致促進をさせるには大事であり、成果も出ている。今後の本町の発展に必要な事業であり、賛成とする。



馬場久雄議員

種をまかなければいい作物もとれないので、企業立地奨励金を大いに活用しながら、今後伸びのある、夢のある大和町にしてみたいことから賛成とする。



伊藤勝議員

東日本大震災により、多くの公共施設に被害が発生し多額の経費が必要とする非常事態になったが、収支結果は、実質収支額で黒字となった。財政健全化比率も全ての事項で適切な比率となっており、賛成とする。



堀籠英雄議員

東日本大震災があり、復旧・復興の年度であった。厳しい財政状況下、適切に対処され、妥当な決算を示された。今後も、効果的な財政運営と活力あるまちづくりが推進されることを強く要望し、賛成とする。

### 討論

一般会計	
国保会計	賛成16 反対1
介護保険会計	賛成17 反対0
宮床財産区会計	賛成17 反対0
吉田財産区会計	賛成17 反対0
落合財産区会計	賛成17 反対0
奨学事業会計	賛成17 反対0
後期高齢者会計	賛成17 反対0
下水道事業会計	賛成17 反対0
農業集落排水会計	賛成17 反対0
戸別合併処理浄化槽会計	賛成17 反対0
水道事業会計	賛成17 反対0

## 決算認定

# 一般質問 「ここが聞きたい、これを言いたい」

## 町政を問う

13名の議員が、町長と教育長に質問



ちさか やすはる  
1. 千坂 裕春 議員  
いじめ対策は万全か  
他 1 件 (16 ページ)



わたなべ よしお  
8. 渡辺 良雄 議員  
後期高齢者医療の保険給付費  
抑制対策に取り組み  
他 1 件 (23 ページ)



ほりごめ ひでこ  
2. 堀籠 日出子 議員  
児童クラブ運営について  
他 1 件 (17 ページ)



ばば ひさお  
9. 馬場 久雄 議員  
町内会の活動は、いかにある  
べきか町の考えを伺う  
(24 ページ)



あさの としひこ  
3. 浅野 俊彦 議員  
雇用拡大・確保に向けた  
取り組みは  
他 1 件 (18 ページ)



つきた まさゆき  
10. 槻田 雅之 議員  
乳幼児健診の受診率 100%を  
目指せ  
他 1 件 (25 ページ)



まつうら たかお  
4. 松浦 隆夫 議員  
健康寿命と、どう取り組む  
他 2 件 (19 ページ)



ふじまき ひろし  
11. 藤巻 博史 議員  
納税滞納への対応は  
他 1 件 (26 ページ)



こんの よしゆき  
5. 今野 善行 議員  
人・農地プラン（地域農業マスター  
プラン）取り組みについて  
他 1 件 (20 ページ)



ひらわし たかし  
12. 平渡 高志 議員  
鶴巣地区の生活道路を  
早期復旧せよ  
他 1 件 (27 ページ)



いとう まさる  
6. 伊藤 勝 議員  
「コンビニにおける証明書等  
の交付」について  
他 2 件 (21 ページ)



たかひら としお  
13. 高平 聡雄 議員  
自治体クラウドの導入について  
他 1 件 (28 ページ)



ほりごめ ひでお  
7. 堀籠 英雄 議員  
がんの予防対策について  
他 1 件 (22 ページ)



議員 春 裕 坂 千

# いじめ対策万全か

**教育長** 早期発見と毅然とした態度で対応

**議員** 大津市の中学生が、いじめにより自殺したとの報道があった。本町の対策は万全か。

**教育長** 対策の基本は、早期発見と、素早い対応と考えている。日頃から、全教職員がアンテナを高くし、生徒の生活行動を観察する。同時に、アンケート調査を実施し、学校の実態把握に取り組む。さらに、専門的な相談ができる相談員を派遣し、生徒・保護者との信頼関係を築く。

いじめに対しては、警察署などの関係機関と連携し、毅然とした態度で対応する。全ての教職員がいじめ問題を解決する当事者意識をもって、生徒・保護者への説明責任もしっかり果たす

よう指導する。児童・生徒の学校生活が円滑に進むよう、また安全な教育環境が維持されるよう、ソフト面とハード面の整備充実に積極的に取り組む。安全・安心な学校として学校生活ができ、義務教育課程が無事に終えることができるよう、最善の努力をする。

## 障がい者法定雇用率は

**町長** 達成できる

**議員** 障がい者法定雇用率は達成しているのか。

**町長** 現在の雇用率は、5.1%で、本年の改正で引き上げ後も達成できる。

**議員** 障がい者支援施設の就労支援に対する取り組みは、



充実した就労施設の臥牛三敬（角田市）

**町長** 第三期計画では、町民、団体、事業所、行政が連携、共同して障がい者の地域生活支援、自立に向けた取り組みを進める。就労施設の実務者に対しては、研修会を開催しながら、就

労施設、活動内容の質の向上に努め、障がい者が継続的に利用できる体制を整える。今後とも、関係機関との連携を密にする。また、隣接の先進地との連携も視野に入れていく。



# 児童館の整備を急いで

町長 必要性を認識している

**議員** 保護者が就労により家庭が留守になる小学1年から3年の児童を対象に、児童生徒の健全育成を図る児童クラブと放課後に、迎えを待つ時間、安全に過ごすことを目的とした準児童クラブ事業が行われている。しかし、吉岡、もみじヶ丘児童館は、児童数が多いことと、施設が狭いことから利用者に制限が出ているが対策は。

**教育長** 多くの児童が生活できるには、施設整備が望まれる。課題整理に努める。

**議員** 大和町保育所跡地に吉岡児童館、杜の丘地区に地域防災センターを早急に建設し、児童館として利用してはどうか。

**町長** 大和町保育所跡地は関係課と検討する。杜の丘防災センター建設は、世代間交流の場、災害時の避難場所として必要性は認識している。地元関係者と協議する。

## 児童生徒用備蓄が必要

教育長 避難所に誘導する



落ち着いて避難しましょうね

**議員** 学校での防災教育は多様な災害を想定しながら、安全に避難し「自分の命は自分で守る」教育が必要である。避難訓練の内容は。

**教育長** 引き渡し訓練や休み時間、下校時の被災も想

定し、継続的に指導を行っている。登下校時は、地域の方の誘導に従うよう指導する。

**議員** 保護者の帰宅が困難で、学校に待機児童・生徒が出るのが想定される。

食料、毛布などの備蓄が必要ではないか。

**教育長** 小学校1校、中学校2校と教育ふれあいセンターが避難所になっている。教師が誘導し避難させる。



こひでこ 議員  
日出子  
ごめ 堀



あさの 野 とし ひこ 彦 議員

# 雇用拡大・確保の取り組みは

## 町長 誘致企業にお願いしていく

**議員** 県内の有効求人倍率は1倍以上となっているが、非正規雇用の求人が多く、継続的な雇用の確保が重要である。誘致企業での地元採用の拡大が次の課題と考えるが、今後どのように働きかけるのか。

**町長** 新天地での新規稼働にあたり、熟練の既存社員でのスタートが多いようだ。増員時には町民の雇用をして頂けるよう、機会を捉えお願いしていく。

**議員** 小中学生が、将来誘致企業に採用してもらえるよう、企業が求める人物像を理解し、目標を持って学習できる教育環境の整備と企業交流が必要と考える。企業が企画する公開プログラムも取り入れてみては。

**教育長** 県の志教育に沿って、将来を考えられるよう指導に当たっている。働くことの喜びを感じさせ、意義を理解させる学習に心掛けていく。有効な企業公開プログラムへの参加を含め、調査研究していく。

**一口メモ**

**公債とは**  
国や地方自治団体の借金です。

**起債とは**  
借金である地方債を自治体が発行することです。

## 23年度末の借金残高と返す見通しは

### 町長 起債発行額を抑制し、減少させる

**議員** 本町の起債残高の償還見通し、償還方法とその管理状況は。予算書では新規財源債のみ記載され、特に借換えの実態が見えない中、公債管理特別会計を設置し、透明化しては。

**町長** 23年度末起債残高は一般会計、下水道事業、水

道事業、農業集落排水特別会計、戸別合併浄化槽特別会計、合計で150億2000万円。黒川地域行政事務組合は、一般会計、病院事業、合計で40億3900万円。本町の負担割合を案分すると22億9300万円と確定した。

起債借入先の85%が政府系資金である。19〜21年度は公的資金補償金免除で1億5800万円を繰上げ償還し、本年度も1億3300万円実施する予定。普通会計の起債償還は、発行額抑制を図り、順次減少となる見通し。



求職者の強い味方

# 防衛庁交付金をPR

## 町長 建物にシールを貼る

**議員** 王城寺原演習場は、大和町の発展と民生安定及び我が国の防衛力向上の面から大変重要であり、町民の皆様の一層の理解と協力が不可欠である。

演習場は周辺の皆様に騒音障害などが発生している。対策として、防衛庁から多額の周辺整備調整交付金が交付されている。

周辺住民の理解と協力を得るためにも、どこから出ているお金なのか、何らかの形で公表・公示すべきであると考えます。

**町長** 交付金の使われ方を、多くの町民の方々に知っていただくため、建物などにシールを貼るよう検討する。



まつ 松  
うら 浦  
たか 隆  
お 夫 議員

## 健康寿命と、どう取り組む

### 町長 肥満予防の啓発に努める



のばそう健康寿命

デマンドバスの導入を町長 研究している

**議員** 交通弱者の足の確保が問題となっている。来年4月、役場北側の交通ターミナルの供用開始に合せ、デマンドバスの導入を検討しては。

**町長** 予約システム機器の導入等経費の負担が増えるなどの課題がある。従来の形の町民バスとオンデマンドバス方式の活用などを研究している。

**町長** 町民の健康状態を全国との比較などを通し、住民の皆様に広くお伝えし理解を頂くと共に、肥満予防のために適量を考えた食事などを関係機関を通じ、普及啓発に努力したい。

**議員** 宮城県の男性で約9年間、女性で約12年間の要介護などの期間があり、今後、健康寿命を延ばす取り組みが必要になる。町としては、健康に対する問題点が3点浮きぼりになっている。

- (1) 検診の受診率が低い
  - (2) メタボ率は、全国で宮城県がワースト1位
  - (3) 子どもの肥満
- 町民の健康寿命を延ばすため、新たな対策が必要と考えるが。



議員 行 善 野 今

# 地域農業マスタープランは

## 町長 来年度に設置する

**議員** 国の基本方針・行動計画の本質は、「地域農業マスタープランの策定」を進め、人と農地の問題を解決し新たな地域農業の仕組みを構築するものだ。

農家・担い手の経営安定に結び付けるためには、活用できる補助金は確実に受けられるようにし、地域農業の活性化を促すべきと考える。

プラン作成の考え方や推進体制を早急に構築し、全ての農家に周知すべきと思うが。

**町長** 各集落にアンケート調査の実施や集落内での話し合いの場を設けて頂くこととなるが、具体的には、農協や関係機関との調整を行って各集落に入っていくたい。

**議員** 町は、集落のプランを審査・検討する会を設置しては。

**町長** プランの原案策定から決定段階まで計画を審議・検討する組織であり、集落の状況を見ながら来年度に設置する。

## 青少年の健全育成の推進を図れ

### 教育長 広範な視点から支援をしていく

**議員** 充実したスポーツは、子ども達に自己実現の機会をもたらし、人間形成に大きく貢献し、また、人と人を結び付け、健全な社会生活を創出することに大きく寄与し、教育的価値などを内包することも認められている。

青少年の健全育成の充実・



守れ地域農業

強化を図るため、現在、20年以上も同額となっている補助金について、支出基準を見直し、増額すべきでは。また、町のスポーツ施設の減免の拡充を図っては。

**教育長** スポーツ少年団に対しては、各種大会や技術向上のための各種教室の開催を支

援しており、今後とも補助金交付要綱に基づいて支援する。また、スポーツ施設は、無料にしているところもあり、大会などの場合は、教育委員会との共催により無料としている。全体の使用バランスを考慮しつつ青少年の健全育成に向けて支援していく。

# コンビニで証明書等の交付を

## 町長 総合窓口がサービスの向上

**議員** 自治体が発行する住民基本台帳カードを利用すれば、セブンイレブンの約1万4000店舗のマルチコピー機から、住民票の写しや各種証明書などを入手することができる。

自治体にとっては住民サービスを向上させられるほか、窓口業務負担の軽減などコスト削減の効果にも繋がる施策である。

**町長** 現在で56自治体が運用を開始し、宮城県内では大崎市が8月から住民票と印鑑証明のコンビニ交付を開始している。

平成23年度で住民票、印鑑証明、戸籍は合計3万4904件となり、一日平均にすると143件。住民の利便性を図るため、月曜日は午後7時まで窓口を延長して行っている。電算の改修委託費などの初期投資を勘案した場合、総合窓口としてのサービス向上が住民の利便性に繋がる。



議員 勝 藤 伊

## 災害時に消火栓からの給水を

### 町長 給水ポイントを選び実施したい



消火栓からの給水（大和町上下水道課）

**議員** 東京都水道局は、消火栓を活用した住民への給水訓練を行った。

消火栓による住民への給水は、災害時に消火栓で給水できるよう、自治体訓練の実施や器具の配備、地域で運用できる仕組みを推進してはどうか。

**町長** 災害時における給水は、住民の生命及び生活を維持する上で、最も重要なものである。

断水地域への給水は、給水車やポリ容器、または給水袋などにより行っており、昨年の大震災後において、消火栓の放水口と接続する

再生可能エネルギーを町長 国の補助で検討する

**議員** 再生可能エネルギーの拡大が「脱原発依存」への弾みになると期待されている。庁舎や公共施設への太陽光発電施設の整備事業を進めるべきと思うが。

**町長** 福島原発事故後は、「脱原発」ということもあり、太陽光発電や風力発電という再生可能エネルギーの導入を支援する政策や取り組みが積極的に行われている。整備は検討する。

給水ユニット（給水栓4口）2セットを購入しており、今後、緊急時において水質の確認とあわせ、給水ポイントとしての適否を考慮した上で、災害時の給水を行う。

# AICSの導入を

## 町長 病院が判断するもの



ほり ぐめ ひで お 議員  
堀 籠 英 雄

**議員** 町のがん検診も一定の成果はあるが、がんによる死亡は多いものと思う。受診率も低いので向上すべきと思うが、今はメタボなど生活習慣病の指導が多くなっている。中学生、町民に対し「がん教育」をすべきと考えるが。

**町長** 子どもの頃からがん教育をする事は重要で、健康と命の大切さを学び正しい認識をもつ事が必要と考える。

**議員** 本年血液の採取によって早期に発見できるがんの検診法が開発された。「AICS」といわれる検査法で5CCでがんが発見できる。この検査システムが5月に塩釜市立病院など

で導入された。受診率向上と早期発見につながると思うので身近な黒川病院でも導入しては。

**町長** 黒川病院での取り扱いが病院の判断によるものと考えてる。

### 一口メモ

#### AICSとは

アミノインディックスが  
んリスクスクリーニング。  
血液中のアミノ酸濃度を測定し、がんであるリスクを予測する検査です。



## DCでもっと町を売りこめ

### 町長 すばらしさを体験して頂く

**議員** 平成20年に次ぐ2回目の「仙台・宮城ディスプレイネーションキャンペーン(DC)」が平成25年4〜6月に開催される。

平成20年DCでの取り組み内容と経済効果は。

**町長** 島田鮎まつりを主にPRし来場者へのおもてなしを行い前年度に比べ3倍以上の入り込み数となった。

**議員** 平成25年本番での企画や計画内容は。

**町長** セツ森公園花まつりをDCのオープニングイベントにし南川ダムやセツ森の遊歩道の散策、陶芸体験館、地元温泉入浴コースを企画し本町の素晴らしさを体験して頂くようバスツアーを計画したい。

### 一口メモ

#### DCとは

ディスプレイネーションキャンペーン。JRのグループと自治体、地元の観光事業者などが協働で実施する大型観光キャンペーン。プレDCは前年に予行演習をして行われるものです。



あさひなサブローもPR中

# 医療費抑制策に取り組み

## 町長 抑制する事は重要だ

**議員** 後期高齢者の増加により、医療費は増大が見込まれる。反面、生産労働人口は減少し、若年層からの保険料支援金の拡大など給付増額は難しく、給付費を抑制することは肝要なことだ。

被保険者が安心して医療を受けられるために、抑制策として次の3点を提言する。

- (1) 介護支援ボランティア制度の導入
- (2) ジェネリック医薬品使用の広報

(3) 市町村の給付費格差の研究・反映

**町長** 年々給付費が増大しており、給付費を抑制することは重要だ。検診事業や個人指導により成人病予防や疾病悪化防止を図っているが、今後は更なるジェネリック医薬品の利用率向上施策を図っていく。また、介護支援ボランティアは今後も検討する



お 雄 議員  
よ 良  
な 辺  
わ 渡

### 一般質問

**議員**

本町に大企業が進出してきている中、杜の丘や吉岡南などの住宅団地では住民が増加しているが、吉田地区はこの10年間で500人も減少している。学校の統合複式学級化なども含め人口減少の一途である。「スローライフや田舎暮

## 「田舎暮らし」を売り込め

### 町長 情報収集を行い検討する



田舎暮らしもいいですよ

らしの勧め」も静かなブームとなってきた。

町と地域で「空き家バンク」を創設・運営して情報を発信し、若者定住促進事業を行えば、現在の住宅団地のみならず、従来の集落地域にも定住を求める若者が増大する可能性が大いにある。

**町長**

今後、供給可能な物件がどれくらいあるのかを含め情報収集をおこない検討する。また、若者定住促進策も、自治体を取り巻く環境やその事業効果を調査していく。

# 町内活動はいかにあるべきか

## 町長 人材育成に力をいれる



お 久 雄 議員  
ば 場 久 議員

**議員** 町内会の活動は、地域課題に広く対処するものであり、住民の交流、連帯感を生み出す活動、また、ごみの分別収集の管理や地震対策、子供、高齢者などの弱者の安全・見守り活動さらには個々に異なる住民ニーズに応えられる取り組みも必要とされる。

企業の進出により人口も増加しており、良好なコミュニケーションを保つための啓発や町としての指針などあるのか。

**町長** 東日本大震災は、改めて家族、友人、地域の人々の「絆」の大切さを知り、希薄になっていると言われる人間関係に気づくきっかけ

けとなった。町内会の活動は、各地区それぞれに長年積み重ねてきたものがあり、町として一律にこうあるべきというものは持っていない。住民の交流、防災・防犯・交通安全・高齢者支援・美化活動などを基本として、地区独自の活動を展開していただいている。

さまざまな面で町と住民や町内会との連携が必要であり、「協働のまちづくり」が地域の協力のもと推進できるよう努める。

地域活動を推進するためにはリーダーが必要であり、「人づくり」が欠かせない。町では地域づくり推進事業で地域おこしのノウハウを取得し、地域において実施していただける人材の育成が重要と考えており、今後とも人材育成の支援を行う。



絆で乗り越えた大震災



# 乳幼児検診を各地で

## 町長 現状の検査体制

**議員** 集団乳幼児健診は吉岡にある「ひだまりの丘」でしか受診できない。

吉岡地区以外の方は車で行くしかなく、各家庭の事情により検診場所にいけない方もいる。受診率をあげる対策として各地区での受診、町として送迎を考えるべきではないか。

**町長** 乳幼児健診会場は、地区ごとに移動しながらの健診が理想的だが、検査機器、医師・看護師の確保、検診車などの総合的なことを考慮した場合、現状での検診体制での理解をお願いする。

## 乳がん健診の受診率向上を 町長 もみじヶ丘児童館でも実施する



受けましょう、がん検診

**議員** 乳がんは早期に発見して、適切な治療を受ければ、9割以上は治る。受診率を高める必要がある。

特に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方は町から無料券を配布されているが、現状の受診率は35%で、「ひだまりの丘」でしか受診できない。

受診率を少しでもあげるためには各地区での受診、町として送迎を考えるべきではないか。

**町長** 本町での乳がん検診は、30歳～39歳は毎年、40歳以上は奇数年齢の方を対象に集団で実施し、年齢に応じた検診内容を実施している。24年度乳がん検診申

込者は、1356人であり、もみじヶ丘・杜の丘の申込者は全体の25%を占めている。

今年度は保健福祉総合センターの他に、もみじヶ丘児童館を会場に実施するので関係機関と調整を図っていく。



議員 之 雅 田 槻



議員 史 博 巻 藤

# 税金滞納への対応は

## 町長 滞納整理機構と協議

**議員** 地方税滞納整理機構へ委託までの手順と年度別の滞納者への納税相談回数は。

**町長** 地方税滞納整理機構へ委託の選定基準として  
 (1)市町村単独では徴収困難と判断される事案  
 (2)個人住民税を含む市町村税の滞納額の合計が50万円以上。  
 (3)滞納処分の執行停止中、分割納付履行中、不服申立中・訴訟中でないもの  
 に対して、町から滞納者に移管予告書を送付し、期間内に納付又は連絡がない場合は、滞納整理機構との協議を経て引継ぎすることとしている。

平成24年度は、東日本大震災による被害状況「半壊以上」は対象から除外している。

窓口における納税相談の回数は把握していないが、分納誓約した件数は平成21年度79件、平成22年度167件、平成23年度97件であった。

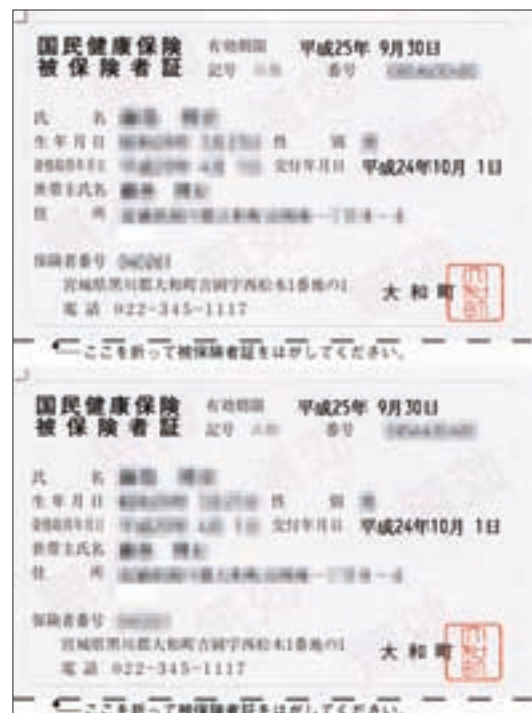
## 資格証明書の発行は適切か

### 町長 軽減措置を行っている

**議員** 国民健康保険の23年度資格証明書発行33世帯は、所得が0〜150万円である。

払えない世帯への対応として適切か。

**町長** 納期内に納入した方とそうでない方への医療サービスの平等性という観点



10月から番号が変わりました。(保険証)

から、資格証明書及び短期保険証を交付することで公平性を図っている。資格証明書を交付する前後で特別の事情届書の提出があれば、随時、審査委員会で審査している。国保料の軽減制度として被保険者一人当たりの均

等割り、一世帯についての平等割を所得に応じて7割、5割、2割軽減方式を導入しており、また、倒産や解雇、雇い止めなどによる離職の方には税額を前年の給与所得を100分の30とする所得割の軽減措置を講じている。

# 鶴巣地区の道路の早期復旧を

## 町長 今年中の復旧を目指す

**議員** 震災から間もなく1年半が経過しようとしている。

町道の復旧の遅れが、地域住民や自動車の通行、児童の通学における交通安全や防犯面で、大きな支障となっている。鶴巣地区民にも我慢の限度がある。なぜ、こんなに時間がかかるのか。いつまでに復旧できるのか。今の現状を町長はどの様に考えているのか。

**町長** 今回の災害復旧工事は、上下水道課との調整が必要のため、その完了を待つて発注するなど、施工順があるため、道路がどうしても最後までなることをご理解願いたい。

大崎三ノ関線をはじめ、砂金沢、大崎地区については8月末に契約手続きが終了し、本年11月末まで復旧を目指す。一日も早く完了するため頑張っていく。

## 消防団員の待遇改善を

### 町長 待遇改善を検討していく

#### 議員

東日本大震災で254人が犠牲になった消防団員の活動について消防庁の有識者検討会は、団員の待遇改善や若年層の入団促進などを求める最終報告書案をまとめた。サラリーマン団員が全体の7割を占めるため、勤務先に対し活動への協力と入団促進の働きかけを求めている。長期間の活動を強いられる災害対応

では、出勤手当を上乗せする必要性も強調している。本町の消防団員も、火災・震災・大雨災害が発生した時は昼夜を問わず又、仕事を投げ打って現場に駆けつけて来る。

団員に、もう少し報いる施策をとってはどうか。

**町長** 団員の活動は、東日本大震災の活躍で更に見直され、地域防災の中心的存

在であることに疑う余地は無いと考える。本町の消防団も、火災や地震をはじめ最近頻発している大雨災害時に、昼夜を問わず活躍して頂き、日頃から大変感謝している。

待遇改善は消防庁の最終報告書案や、県内町村の状況を調査し検討していく。



ガマンの限界!!直らない道路



議員 高 志 高 渡 平

# クラウドでデータ保全

## 町長 多額の費用が課題となる



たか 高 議員  
ひら 平 議員  
とし 聡 議員  
お 雄 議員

**議員** 災害を想定した重要データの管理対策は他に優先されるべき課題である。役所が管理する行政文書の安全確保に大きな効果が見込まれる自治体クラウド構築に早急に取り組むべきと思うが見解は。

**町長** 東日本大震災で、庁舎は震度7に対応した免震システムを備えておりサーバーに被害はなかった。また、データも毎日バックアップして、もしもに備えている。宮城県電子自治体推進協議会「自治体クラウド専門部会」での勉強会がスタートしたばかりであり、単独で導入した場合には、

多額の費用が予想されることなどから、宮城県の意向や他の自治体の動向を踏まえながら検討する。

### 一ロメモ



#### クラウドとは

データを自分のパソコンに保存するのではなく、インターネット上に保存する使い方、サービス。

## 町の弱点「町民の足」確保と充実策

### 町長 路線、高速、スクール、住民バスが利用

**議員** 役場北側に交通ターミナルが来年4月に供用開始される。高速バス、路線バス、町民バスなどの利用が予想されるが活用計画を示せ。

総合計画では大和インター隣接の高速道バス停の活用を目的とした駐車場整備を計画したが、当該高速

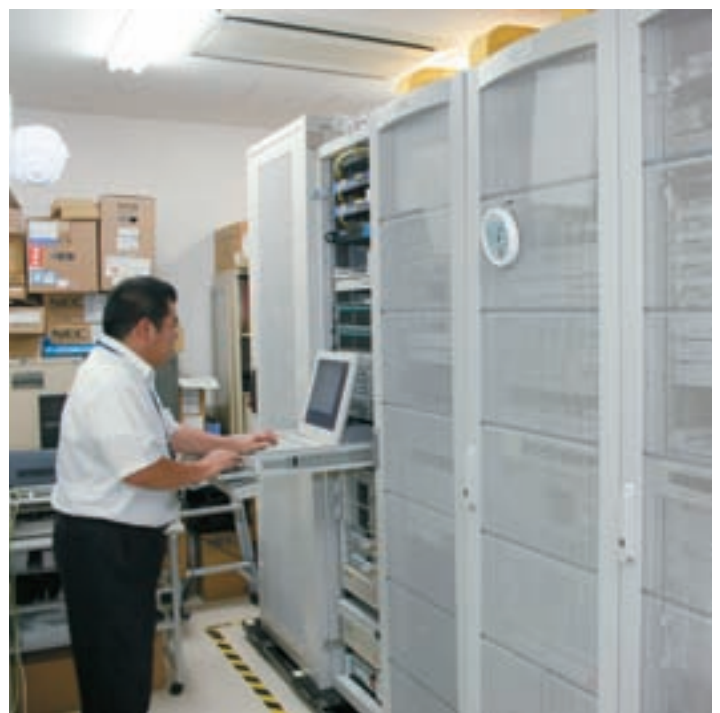
バス停の活用はどうなったのか。また、交通ターミナル供用に合わせ町民バスの活用策の一案としてオンデマンドバス（タクシー）運行を検討しては。

**町長** バス事業者と路線バス、高速バス、スクールバス（私立高校）並びに住民バスを運行している近隣町

村に対してターミナルの利用をお願いしている。

大和インター隣接高速バスの活用は駐車場予定地がコンビニに貸与されてしまいい協議が中断している。

オンデマンドバスは導入経費・運行費用などの課題があるので現在研究中である。



役場の中核、電算室



# なしよなつたの？ あの提言は

議員が行う提言は、町政にどう反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から一部ピックアップし、その後の経過を追跡してみました。

## 実現しました 子育て支援課を設置せよ

H22年3月  
(質問)



H24年10月  
(実現)

### 質問

子ども施策は保健福祉課、子ども支援助成事業は町民課、幼稚園関係は教育総務課が担当している。利用者からは「どこに相談に行ったらいいのかわかりづらい」と困惑の声がある。



### 答弁

近年の保育ニーズは多様化しており、22年度から保健福祉課内に、子育て支援班を新設する。



### 結果

近年の課題である子育て支援に対応するため、10月の機構改革で子育て支援課が設置されました。



## 実現しました 危機対策室を設置せよ

H22年9月  
(質問)



H24年10月  
(実現)

### 質問

平成16年10月に危機対策官を配置し、町の安心・安全のために防災計画を策定し、災害に強い町を目指した。各地で地震や豪雨等の大きな被害が出ているが、幸いにも本町は大きな被害がない。そのため、危機意識が薄れているように見受けられる。どんな時にも対応できる、危機対策室を設置すべきでは。



### 答弁

緊急対策は、対策本部を設置し、災害の状況により各部署が対策を遂行する。総務まちづくり課危機対策班が中心に対策に当たるが、状況により他の職員も支援に入る。現状の体制で対応を考える。



### 結果

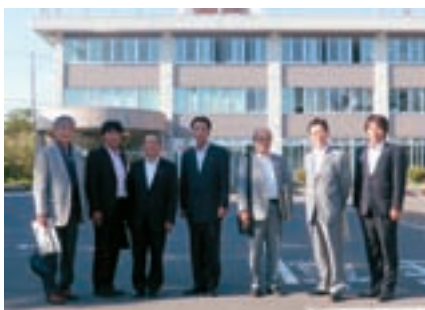
防災に強い安全、安心なまちづくりの重要性を踏まえ、10月の機構改革で危機対策室が設置されました。



# 先進地を視察し、本町の町政に活かします 県外視察研修レポート



北海道奥尻町（総務）



北海道長沼町（総務）



北海道南幌町（社会文教）

## 産業建設常任委員会 農業先進地の活性化事業を視察しました

【視察地】徳島県上勝町、香川県三木町 【視察月日】7月18日～20日  
 【視察者】堀籠英雄委員長、大崎勝治副委員長、馬場久雄委員、今野善行委員、門間浩宇委員、槻田雅之委員  
 【視察目的】上勝町では「彩事業の取り組み」、三木町では「グリーン・ツーリズムの取り組み」、「特産品の取り組み」、「活力あふれる三木まんで願の取り組み」を視察しました。

### 徳島県上勝町 葉っぱビジネス

30年前の異常寒波でミカンの木が凍害により全滅。高齢者の多い町で新たにミカンの木を植えても復興は不可能。高齢者で、女性でもできるモノを模索。大阪の店で、つまもの重要性を学ぶ。現状は、毎朝、JAから各農家に発注。農家の平均年齢は70歳で194戸が参加。年商は2億6000万円で累計は20億円。

【所感】上勝町の農業者の高齢化を踏まえた新たな作目を模索し「葉っぱビジネス」に取り組んだ。その地道な努力が、人口19000人の町を活力ある町にした取り組みに敬服する。キーワードは、誰にでも居場所と出番がある、生涯現役、産業福祉。今回の視察で学んだことをヒントに本町でも活性化に向けた一助にしたい。



徳島県上勝町（産業建設）

### 香川県三木町

#### 農業先進地

(1)グリーン・ツーリズムの取り組み  
 平成18年に三木町グリーン・ツーリズム推進協議会を設立し、組織体制は、酪農、ジャムづくりなど10団体で構成。年間カレンダーを作成し、通年参加者の募集を行っている。

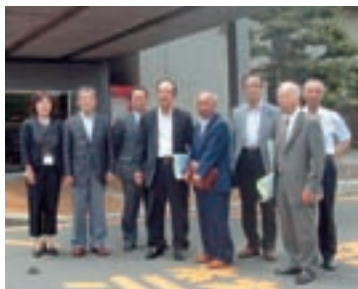
(2)特産品の取り組み  
 「いちご」を活用したワインの製造販売。姉妹都市である北海道七飯町がワインを製造販売していることから、原料のいちごを送り委託製造をしている。

(3)活力あふれる三木まんで願の取り組み  
 「まんで願」は讃岐弁で

「全部」という意味。みんなで参加し、みんなが楽しむという住民参加型のまつり。三木町の魅力や特色を地域ブランド化し、活力あふれる三木町に。

【所感】住民参加型の行政施策の考え方から「百眼百考会議」が設置され、そこからの提案に基づく一大イベントにつなげる取り組みは興味深いものがあつた。実行委員会が設置され、香川大学の農・医学部の学生も参画しており、若い世代を巻き込んだイベントへの意向がうかがわれる。具体的なシナリオづくりまで進んでおり、担当者の説明にも感心した。

#### 報告者 今野善行委員



香川県三木町（産業建設）

# 総務常任委員会 デマンドバスと災害復興を視察しました

**【視察地】**北海道長沼町、北海道奥尻町 **【視察月日】** 6月27日～29日  
**【視察者】**伊藤勝委員長、松川利充副委員長、高平聡雄委員、松浦隆夫委員、浅野俊彦委員  
**【視察目的】**長沼町では「デマンドバス設立に至った経緯、町営バスの現状、長沼ふれあいターミナル」、奥尻町では「震災復興への道のり」を視察しました。

## 北海道長沼町

### オンデマンドバス

(1) オンデマンドバス設立の経緯 町民バスの輸送人員はピーク時、年間約4.6万人あったが、平成23年には、32万人と約3割減少した。このことから平成19年、国の地域公共交通活性化・再生総合事業の推進に着手。平成21年からオンデマンドバスの実証実験を開始し現在に至る。

(2) 町民バスの現状 全区間200円。小学生以下と65歳以上は半額。障がい者及び介護者並びにスクールバスも兼ねることから小中学生の通学は無料としている。

(3) 長沼ふれあいターミナル 民間バス会社の撤退に伴い、無償譲渡された建物をターミナルとして町臨時職員1名を配置し運営。

**【所感】**本町も新設される交通ターミナルの活用策や、より利便性の高い町民バスの運行が求められる中、小型車によるオンデマンド化で空バスを無くし、合理的な運行が図れ、運

行エリアを拡大し、その効果を最大限に生かせるような工夫が求められる。

## 北海道奥尻町

### 震災復興

平成5年北海道南西沖地震が発生し、マグニチュード7.8、震度6、最大で30mの津波が襲来した。死者172名、行方不明者26名、1410棟の住宅が一瞬にさらわれた。復興を推進するに当たり、大きな役割を果たしたのが全国から寄せられた義援金であった。総額190億円。5年間で復興を成し上げた。

**【所感】**全国から寄せられた善意の義援金が被災者に手厚く振り向けられたことが復興のスピードと事業内容の充実に繋がっている。防潮堤に囲まれた海岸線、土盛りして整然と並べられた真新しい住宅、素早く高台に向かえる避難階段、津波からの教訓を生かした防災に強い町づくりを実践していた。

報告者 高平聡雄委員

# 社会文教常任委員会 子育て支援策を視察しました

**【視察地】**北海道南幌町、北海道鷹栖町 **【視察月日】** 6月26日～28日  
**【視察者】**中川久男委員長、平渡高志副委員長、堀籠日出子委員、藤巻博史委員、渡辺良雄委員、千坂裕春委員  
**【視察目的】**子育て支援の施策を視察しました。



児童クラブ「カンタラモッチ」

## 北海道南幌町

### 子育て支援

教育委員会、保健福祉課を中心に保育師、子育てサポーター。子育て支援にかかわる人、団体が連携・協力し、情報の共有を進めていた。保育園に子育て支援センターを置き、毎日の開設開放、週一回の子育てサポーターのすくすく広場、月一回の地域出張しての遊びなど就学前子育て応援を行っている。また、発達支援センター、子育て相談も毎日行っている。ブックスタート、子育て支援米として地元産の米を5kg乳児検診時に支給している。

**【所感】**町の子育て応援にかける熱意を感じた。福祉課と教育委員会が、地域の方々も含めて協議を行いながら「町総がかり」で子育てを進めていた。

## 北海道鷹栖町

### 放課後児童クラブ

町内に「子育てセンター」が2箇所あり、子育て相談、一般開放、赤ちゃんひろば、本の貸し出しなどの事業を行っている。

放課後や長期休みなどに安心して生活できるように公設民営の「放課後児童クラブ」が4箇所ある。NPO法人が運営して5人の指導員、139人の児童が利用している。安心して子育てができる環境を整備し、自然や人間のかかわりとぬくもりを大切にした子育て事業を展開している。

**【所感】**視察した放課後児童クラブ「カンタラモッチ」は民家のような建物で、子どもたちが「ただいま」と帰ってくるようであった。その中で各学年間の交流が進んでるとのことであった。NPOの自由な発想と思われる。

報告者 藤巻博史委員

吉岡小学校 六年  
佐藤ほたるさん



大好き!!

# 大和町

宮床小学校 六年  
宮崎 隼斗くん



## 思いつきの夏祭り

今年の夏休みが一番の思いつきは、やっぱり「まほろば夏祭り」です。

去年までは、参加する側としてお祭りを楽しむだけでした。でも今年は、お祭りのステージで歌うことになり、すごく緊張しました。でも、学校で練習した「翼をください」を歌い始めると、少しずつ緊張が解けてきて、きちんと歌うことができました。会場のみなさんから拍手

## 大和町の大自然

大和町は、自然豊かな場所です。さまざまな生き物がいます。特に大自然が集まった七ツ森。大きい山、小さい山、それぞれが大自然です。しかし、車やバイクが増え、ずいぶん空気は悪くなりました。車やバイクは人々にとって役に立ちますが、自然にとっては環境破壊になります。また、色々な建物が建てられ、自然や生き物が生きていく場所が少なくなってきました。

## 今回の表紙は

10月9日に落合小学校の子どもたちが、稲刈りを行いました。手間をかけて育てた稲は立派に育ち、豊作となりました。収穫をしたお米は、みんなで美味しくいただくとのことですよ。



## 編集後記

### 助け合い

梅雨明け後に猛暑が続きましたが、農家の懸命な努力もあり概ね良好な収量・品質となった。一方で、原発事故による農産物への風評被害も今なお続いており、その根深さに悩まされている。

幸い、我が町は、沿岸部のような壊滅的な被害は免れたものの、大自然の猛威から命と暮らしを守るのには、助け合い・支え合い、協働の姿で、地域社会での人々のより強い「絆」ではないか。「復興元年」、一日も早い復旧を願うものであります。

広報編集委員 今野 善行

## 議会を傍聴してみませんか？

面倒な手続きはありません。1人でも団体でも傍聴できますので、ぜひお越しください。1階の町民ホールでも視聴できます。

次回定例会は  
12月4日(火)から  
12月7日(金)までの予定です。

大和町議会事務局  
☎ 022-345-7506  
✉ gikai@town.taiwa.miyagi.jp

## 議会広報調査特別委員会

- 編集発行責任者 議長 大須賀 啓
- 編集委員 委員長 伊藤 勝  
副委員長 藤巻 博史  
委員 長 今野 善行  
委員 長 門間 浩宇  
委員 長 千坂 裕春  
委員 長 浅野 俊彦